

1	基準Ⅰ-1	教育理念・目標・方針
---	-------	------------

◆判定基準

- ① 教育理念・目標・方針が明文化・公表されている
- ② アドミッション・カリキュラム・ディプロマポリシーが明文化・公表されている
- ③ アセスメントポリシー(学修成果の評価方針)が明文化・公表されている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

教育理念は HP や学生便覧、パンフレットに明記し、公表されている。教育目標・方針については学生便覧に「教育課程」として記載し、公表している。
アドミッション・カリキュラム・ディプロマポリシーは明文化し HP で公表している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

単に在るべき姿を提示するのではなく、本校における教育の特性を踏まえ学科の取り組みの実態の整備等を行い、三つのポリシーを一貫性・整合性のあるものとして策定するとともに、三者の関係を分かりやすく示せるよう改善する。また、本校に関心を持つ様々な関係者（入学希望者、在校生、保護者、高等学校関係者、実習施設関係者等）が十分に理解できるような内容と表現とする。

2	基準Ⅱ-1	学科・専攻の長
---	-------	---------

◆判定基準

- ① 学士の学位を有する者、またはそれに準ずる学識・教育・研修修了者である
- ② 修士の学位を有し、必要な教育・研修修了者である
- ③ 博士の学位を有し、10 年以上の教育経験と必要な教育・研修修了者である

様式 8 自己点検評価報告書 理学療法学科（昼間部）

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ②を満たしている
- 4 ③を満たしている

◆自己点検評価結果の理由

学科の長は、2022 年に兵庫医科大学医療科学研究科医療科学専攻の修士課程を修了しており、2016 年 9 月には養成施設等教員講習会、2022 年 7 月に臨床実習指導者講習会を修了している。本校には 2011 年 4 月に入職し、専任教員として 13 年以上の経験を有している。また、2022 年には学校教育の認定理学療法士を取得している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

教育分野における専門理学療法士の取得を目指す。

3	基準Ⅱ-2	教員の要件
---	-------	-------

◆判定基準

- ① 指定規則で定める基準が遵守されている
- ② 専任教員は全員が協会員（JPTA・JAOT・JAS）である
- ③ 専任教員は全員が修士以上の学位を有し、必要な教育・研修修了者である

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

専任教員は臨床経験 5 年以上であり、全員指定規則で定める基準を満たしている。また、専任教員全員が日本理学療法士協会の会員である。修士以上の学位取得者は 4 名である。また、理学療

様式 8 自己点検評価報告書 理学療法学科（昼間部）

法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会の修了者は6名である。1名は、理学療法士作業療法士専任教員養成講習会を修了している。本学科の専任教員は入職後、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会の受講を計画的に進めているが、応募者多数のため落選となることが続いている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

毎年1～2名ずつの専任教員が理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会に参加できるよう計画的に進めている。専任教員全員が講習会修了者となることを目指す。

4	基準Ⅱ-3	教員数と教科目
---	-------	---------

◆判定基準

- ① 指定規則で定める教員数が確保され、実習調整者が配置されている
- ② 担当科目に関連する研究業績のある教員が配置されている
- ③ 指定規則の定数を超える専任教員が配置されている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- ③ ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

専任教員は9名在籍しており、全員指定規則で定める基準を満たしている。このうち実習調整者として1名配置している。専任教員は担当科目の教育を受けもつにあたり、新しい情報を提供できるよう教育研究大会や研修会、講習会等に積極的に参加し、自己研鑽に努めている。

様式 8 自己点検評価報告書 理学療法学科（昼間部）

◆自己点検評価結果における課題と対応

専任教員は臨床現場にも積極的に参加し、担当科目に関する新しい情報を学び得るとともに、教育に活かす努力を継続して行う。また、科目に関連する業績をまとめ、認定理学療法士・専門理学療法士の取得を目指す。

5	基準Ⅱ-4	教育の質
---	-------	------

◆判定基準

- ① 教育・研究・研修規程が整備され、専任教員の業績が公表されている
- ② 授業評価および FD・SD が実施され、結果が公表されている
- ③ 教育の質の向上に向けた研究・研修への積極的な取り組みが見られる

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- ③ ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

教育や研究、研修に関する規程は整備され、研究業績については専門書により公表されている。FD が実施され、HP に公表されている。
専任教員の教育の質の向上ため、毎年 1 回の研修会・学会への参加を促している。参加教員は伝達講習会を行い、研修会・学会で得た情報を共有している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

本校においては、職員の資質向上に向け、学科内での FD の充実を図るとともに、学会や研究会、学外講座やセミナーへの参加等、個々人の努力を積極的に奨励・支援している。
教育について語る中で主観的な印象が多いため、今後、教育の質の向上に向けた積極的な研究が必要となる。

6	基準Ⅱ-5	教育のための予算
---	-------	----------

◆判定基準

- ① 入学料・授業料・実習費等は適当な額である
- ② 教育上必要な機械器具や図書購入予算が明示され、計画的に執行されている
- ③ 研究活動のための外部資金導入の努力を行っている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

教育上必要な機械器具は必要性の高いものから優先に年間予算より計画的に購入をしている。
 図書は毎年、専任教員や学生からの希望により書籍の検討を行い、予算内で購入している。
 研究活動のための外部資金導入の努力を行っている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

運用にかかる費用については、他学科との調整の中で平等かつ公平な予算計画と執行を目指して努力している。また、研究活動のための予算は毎年、研究活動の検討・計画を行い、外部から資金導入が得られるように努力する。

7	基準Ⅱ-6	教育環境
---	-------	------

◆判定基準

- ① 教育目的達成のための環境が整備されている
- ② 校地校舎等の学修環境の整備と適切な管理・運営が実施されている
- ③ 教育環境の確保・充実に向けた中長期計画が策定されている

様式 8 自己点検評価報告書 理学療法学科（昼間部）

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

教育を達成するための標準的な環境は整備している。また、校舎等の学修環境も定期的に点検を行い、適切な管理を実施している。
教育環境の確保・充実に向けた検討はしているが、中長期計画の策定に至っていない。

◆自己点検評価結果における課題と対応

教育環境は確保できているが、充実しているとは言い切れない。今後、教育環境のより一層の充実に向けた見直しや取り組みとした中長期計画が必要である。

8	基準Ⅱ-7	教育設備
---	-------	------

◆判定基準

- ① ガイドラインで定める教室および実習室が整備されている
- ② 教員室（研究室）および個別指導の場が確保されている
- ③ 教育研究内容に対応した機材等が整備されている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

ガイドラインで定める教室および実習室は整っている。教員室は1階に配置し、個別指導が行える場は複数あり同時に行えている。
教育研究に必要な機材は整備されており、定期的に使用・点検を実施している。教育研究に必要な

様式 8 自己点検評価報告書 理学療法学科（昼間部）

な機材がある場合、検討を行い更新している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

教育研究機材においては、テーマと予算計画を行い、毎年の予算の中で、検討する予定である。

9	基準Ⅱ-8	教材・備品
---	-------	-------

◆判定基準

- ① 教育上必要な教材・備品及び専門図書・雑誌が必要数確保されている
- ② 適切な規模の図書室（館）を有し、十分な学術情報資料が確保されている
- ③ 講義・演習等に必要な IT 教育機器や文献検索システムが整備され、適切に運用されている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

教育上に必要とされる教材備品や専門書籍・雑誌は確保している。図書室は共有スペースと個室を完備している。講義に必要なパソコンは各教室に設置し、各教室対応のプロジェクターも整備されている。また、校内には Wi-Fi 環境も整備され、インターネットの使用もできる。オンライン授業のツールとして ZOOM と Google workspace を対応・活用している。貸出用のパソコン（カメラ付き）も整備している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

授業に必要とする教材・備品については確保できているが、学生数の変更に応じて毎年、予算の中で検討し、順次整備する必要がある。ICT 教育に備え、通信環境の調査・整備を行う予定である。

10	基準Ⅲ-1	ハラスメント対策
----	-------	----------

◆判定基準

- ① ハラスメントの規程が整備され、公表されている
- ② ハラスメント防止を目的とした研修会が定期的実施されている
- ③ 全教職員、臨床実習施設職員、保護者等への周知・啓発が実施されている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

ハラスメント防止・対策に関する規程は整備され、学生便覧や臨床実習要綱に記載し、公表している。年度初めにはハラスメント防止について、全教職員に周知を図っているが、定期的な研修会の実施には至っていない。臨床実習施設職員には指導者会議で、保護者には入学者説明会・保護者説明会でハラスメント防止の説明を行っている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

今後、ハラスメント防止に向けた定期的な研修会の計画と実施を目指す。

11	基準Ⅳ-1	入学者の選考
----	-------	--------

◆判定基準

- ① 選考要項が整備され、公表されている
- ② 学則に定められた学生の定員が守られている
- ③ アドミッションポリシーに基づいた選考が行われている

様式 8 自己点検評価報告書 理学療法学科（昼間部）

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

入学者の選考要項は学生募集要項に明記し、公表している。試験科目である面接や筆記試験は採点基準に基づき、2名以上で客観的かつ公正に審査している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

AO入試では学校側の求める人物像と照らし合わせ判断を行うため、本校の重視する点を整理し共通した質問提示ができるようにする。

12	基準Ⅳ-2	生活・学修支援
----	-------	---------

◆判定基準

- ① 生活・学修支援体制が整備されている
- ② 生活・学修支援に関する学生の意見・要望を把握・分析し、適切に実施されている
- ③ 障がいのある学生や留学生に対する支援体制が整備されている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

学生への生活・学修支援として、本校独自の経済的支援による授業料等免除制度を設けて計画的に行っている。臨床実習や授業に対する悩みは、担任が相談窓口となり対応にあたっている。

様式 8 自己点検評価報告書 理学療法学科（昼間部）

学修支援に関して学生の意見や要望を把握するためにアンケートを実施している。
障がいのある学生への支援体制として、校内はバリアフリーとしている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

留学生の支援体制について整備が不十分である。今後、支援体制において明文化しておく必要がある。

13	基準Ⅳ-3	教育課程
----	-------	------

◆判定基準

- ① 指定規則、ガイドラインに定められているカリキュラムが整備されている
- ② 講義概要、学生便覧が整備・公表され、適正に運用されている
- ③ 教育課程を可視化するなど、修学向上への工夫・改善が見られる

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- ④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則に基づいたカリキュラムであり、学生便覧に公表し、全学生に配布している。講義概要は本校の学務システムより閲覧できるように整備している。教育課程については、新入生オリエンテーションや保護者説明会で各学年での学びと重要性について説明を行い、学習に臨む心構えを高めてもらうようにしている。学びの内容については先輩・後輩との交流の場を設定し、学生間でアドバイスをもらうようにしている。さらに年2回教育課程編成委員会を開催し、客観的に分析するとともに有識者からの助言を得て運用している。

様式 8 自己点検評価報告書 理学療法学科（昼間部）

◆自己点検評価結果における課題と対応

本校では3年間で取得する科目や時間割の一例をパンフレットで明記しているが、重視するポイントなど十分な理解が得られるような提示を検討する必要がある。今後カリキュラムツリーなどで視覚的にわかりやすいように提示していく予定である。

14	基準IV-4	教育内容
----	--------	------

◆判定基準

- ① 改正カリキュラムが適正に運用されている
- ② 定期的カリキュラムの検討・見直しが行われている
- ③ 特色ある教育プログラムを有している

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- ④ ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則変更に伴って、教育ガイドラインに基づいたカリキュラムの編成を定期的に行っている。2023年度にも各科目の内容の見直し、検討を行っている。また、コミュニケーション学やホスピタリティデザイン学といった本校独自の科目を設定し、より対象者に寄り添うことができる理学療法士を排出することができるよう工夫をしている。さらに、ダブルライセンスを希望する学生のために JATI 認定トレーニング指導者の資格取得をサポートする講座を開設している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

本校は摺河学園において受け継がれてきた伝統である「心の教育」を特色としているが、教職員の一貫性を図るための検討を随時行い、一段と進化発展を目指す。

15	基準Ⅳ-5	教育方法
----	-------	------

◆判定基準

- ① 講義概要に教育方法を明記し、適切に運用されている
- ② 講義・演習・実習が効果的に組み合わせられている
- ③ 授業方法の工夫・開発に取り組んでいる

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

講義概要に明記した内容を遵守した教育が概ね行われている。しかし、講師の都合により、一部講義内容が変更となっているところもある。基礎3科目（解剖・生理・運動学）は1か月ごとに授業内容の確認テストを実施し知識の定着を図っている。演習・実習形態を含む科目については臨床現場で実務として働いている理学療法士が担当している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

受け身的かつ自己表現の少ない学生が増えていることから、今後、課題解決型学習を多く取り入れ、学生の主体性を引き出していく必要がある。

16	基準Ⅳ-6	成績評価
----	-------	------

◆判定基準

- ① 評価基準、方法を明記した文書を有している
- ② 授業科目内容に合致した（客観的）評価方法により実施されている
- ③ 単位認定、進級・卒業認定、修了認定基準を適切に定め、厳正に適用されている

様式 8 自己点検評価報告書 理学療法学科（昼間部）

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

成績評価の基準は学生便覧に明記し、公表している。授業科目に応じて、重視する内容を明記し、成績評価を行っている。単位認定、進級・卒業認定、修了認定は定めた基準に基づき学科会議で公正に判断した後、進級・卒業判定会議を経て決定する。

◆自己点検評価結果における課題と対応

現在、総合点をもって成績評価を行っているが、難易度における正答率および成績の分布状況を踏まえて評価を行うことを検討する。

17	基準Ⅳ-7	臨床教育
----	-------	------

◆判定基準

- ① 指定規則に基づいた臨床教育が計画・実施されている
- ② OSCE（客観的臨床能力試験）を導入し、評価・単位認定を行っている
- ③ 先進的な臨床教育プログラムを取り入れている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

本校は診療参加型実習を推奨しているため、実習前・後に客観的臨床能力試験（OSCE）を実施し、臨床実習の評価に加味している。地域の方々を対象に、地元の大学と協力し、ユニバーサルスポーツ

イベントを行っている。コミュニティに対する活動の一環として、障害者スポーツ選手による車椅子バスケットボール体験会を開催している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

臨床実習前後の客観的臨床能力試験（OSCE）と学内における実習報告会を加味して学校側で評価・判定を行っている。客観的臨床能力試験（OSCE）の位置づけと判定基準・方法について検討と準備を行っている。

18	基準Ⅳ-8	臨床実習
----	-------	------

◆判定基準

- ① 指定規則、ガイドラインで定める基準が遵守されている
- ② 臨床実習が適切な年次に配置され偏りなく実施されている
- ③ 特色ある臨床実習プログラムを取り入れている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- ③ ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則に定められた時間数以上の臨床実習を設定している。また、カリキュラムに合わせて適切な時期に臨床実習を計画・実施している。現在、実習形態は「診療参加型実習」へ移行する中で、実習指導者に説明を行っており、かなり定着してきている。

様式 8 自己点検評価報告書 理学療法学科（昼間部）

◆自己点検評価結果における課題と対応

診療参加型実習の移行に伴って、実習指導者と専任教員との共通理解の元、意識改革が必要であったが、おおよその実習施設で診療参加型実習を展開していただいている。引き続き当校にて臨床実習指導者講習会を開催していきたい。

19	基準Ⅳ-9	臨床実習施設との連携
----	-------	------------

◆判定基準

- ① 定期的に臨床実習指導者会議を開催し、議事録が共有されている
- ② 実習の前後を含め施設と密な連携が取られている
- ③ 専任教員が適時臨床実習に参加し、指導している

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

毎年1月・3月の2回、臨床実習指導者会議を開催し、会議内容を議事録として保管している。なお、欠席施設には議事録を送付している。臨床実習期間前後および期間中は常に連絡がとれる体制を取っており、問題が発生した場合、迅速な対応ができるよう調整を行っている。実習期間において担当教員が必ず1回は訪問を行い、指導者より学生の現状把握を行ったうえで学生指導を行っている。また、学生の実習状態に合わせて、専任教員も学生の実習に参加し助言を行っている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

実習開始後は臨床実習施設と連絡が取れる体制ではあるが、学生に問題が発生していなければ実習指導者に学生を任せたまの状態となっている。今後は、定期的に学生本人または実習指導者に連絡を取り、問題発生予防にも努める。

20	基準Ⅳ-10	臨床実習施設の条件
----	--------	-----------

◆判定基準

- ① 指定規則、ガイドラインに定められた臨床実習が実施されている
- ② 臨床実習施設としての設備・スタッフが備えられている
- ③ 協会認定または病院機能評価等の認定施設が 50%以上確保されている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

臨床実習施設としての設備は概ね備わっている。臨床実習施設の中で「病院機能評価」の認定を受けた医療施設は約 1/3 程度である。その他、認定資格等については調査中である。

◆自己点検評価結果における課題と対応

施設並びに指導者情報について、個人情報保護に留意した上で、詳細な把握に努め、管理する必要性がある。

21	基準Ⅳ-11	臨床実習施設の数と種別
----	--------	-------------

◆判定基準

- ① 指定規則、ガイドラインで定める施設基準が遵守されている
- ② 各障がい・病期・年齢層を偏りなく対応できる能力を培う実習施設が確保されている
- ③ 主たる臨床実習施設が確保されている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない

様式 8 自己点検評価報告書 理学療法学科（昼間部）

2 ①を満たしている

3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

各障がい・病期・年齢層を偏りなく経験できる実習施設が概ね確保できている。主たる実習施設として相応しい実習施設の確保はできているが、本校の附属実習施設ではないため、主たる実習施設として契約するには至っていない。

◆自己点検評価結果における課題と対応

今後、主たる実習施設の確保ができるよう引き続き、努力する。

22	基準Ⅳ-12	臨床実習指導者
----	--------	---------

◆判定基準

- ① ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 臨床経験 5 年を超える指導者が 30%以上を占める
- ③ 専門・認定有資格者が 30%以上を占める

◆自己点検評価 ○印

1 基準を満たしていない

2 ①を満たしている

3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている

4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

臨床実習指導者について、臨床経験 5 年を超える指導者が 30%以上を占めていた。臨床実習指導者の中で、専門理学療法士・認定理学療法士の資格を有している指導者においては、調査中である。

様式 8 自己点検評価報告書 理学療法学科（昼間部）

◆自己点検評価結果における課題と対応

指定規則の変更に伴い臨床実習指導者の規定として、臨床実習指導者講習会の受講が義務付けられていることから、今後も講習会の企画、開催を行っていく。

23	基準V-1	教育成果
----	-------	------

◆判定基準

- ① 教育成果の点検・評価結果が学生に FB されている
- ② 学業達成率が 80%以上である
- ③ 新卒者の国家試験合格率が全国平均以上である（過去 3 年間の平均値）

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

日頃実施されてる確認テストで結果が伴わない学生に対しては計画的に個別面談を実施し、問題の早期把握・対策に努めている。定期試験（前期・後期）においては、合格点をクリアできなかった科目が 3 科目以上あった場合、保護者を交えた面談を実施している。また、実習においては実習終了後、臨床実習指導者からの成績と報告を踏まえ問題点と今後の対策について指導を行っている。国家試験合格率は過去 3 年間の平均では、全国平均より下回っている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

学生ひとりひとりの学習意欲や学習方法を把握することに努め、学習定着に向けた方策を考え、計画的に実施していく。特別な対応が必要な学生については、専任教員間で情報を共有し一貫した対応ができるように取り組む。

24	基準VI-1	社会貢献
----	--------	------

◆判定基準

- ① 個人レベルで実施されている
- ② 学科・専攻レベルで実施されている
- ③ 学校養成施設レベルで組織的に取り組まれている

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①②③のうち一つを満たしている
- 3 ①②③のうち二つを満たしている
- 4 ①②③の全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

専任教員が兵庫県理学療法士会の運営員を務めたり、学会運営の部員として積極的に活動を行っている。高等学校などの特別授業では、委嘱状を受け専任教員が活動協力を行っている。学生に対するボランティア活動はその都度呼びかけを行い、積極的な参加・協力を促している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

これらの社会貢献に参加できるよう全教職員が情報を共有し、学生への情報提供の充実を図りたいと考える。また、専任教員は自己研鑽を積むためにも可能な限り、特別講座やボランティア活動への参加・協力を図っていききたい。

25	基準VII-1	内部質保証
----	---------	-------

◆判定基準

- ① 第三者による外部評価を受審し、結果を公表している
- ② 定期的に自己点検評価を実施し、課題改善に努めている
- ③ 学部・学科・専攻全体の PDCA サイクルの確立とその活用が図られている

様式 8 自己点検評価報告書 理学療法学科（昼間部）

◆自己点検評価 ○印

- 1 基準を満たしていない
- 2 ①を満たしている
- 3 ①を満たし、②③のどちらかを満たしている
- 4 ①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

外部審査を受け、結果をHP上に公表する。

年2回の教育課程編成委員会を開催し、客観的に分析するとともに有識者からの助言を得て課題改善に努めている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

全学科含めたPDCAサイクルの確立に向けて、チェック体制の強化が必要である。